周術期に休薬の検討が必要な薬剤一覧

下記に記載している休薬期間は「目安」です。
 周術期の休薬については、主治医が患者の状態に応じて休薬によるリスクとベネフィットを考慮した上でご判断ください。

索引番号	成分名	商品名		休薬期間	備考
		先発品	後発品		
抗凝固薬：出血の危険性増大のため。					
1	アピキサバン	エリキュース	—	1-3日	医療安全ハンドブック
2	エドキサバントシル酸塩水和物	リクシアナ	—	1-2日	医療安全ハンドブック
3	ダビガトランエテキシラートメタンсульホン酸塩	ブラザキサ	—	1-4日	医療安全ハンドブック
4	リバーロキサバン	イグザレルト	—	1-2日	医療安全ハンドブック
5	ワルファリンカリウム	ワーファリン	ワルファリンK	3-5日	医療安全ハンドブック
6	ヘパリンナトリウム	(注)ヘパリンNa (注)ヘパリンナトリウム	—	4時間	医療安全ハンドブック
7	ヘパリンカルシウム	—	(注)ヘパリンCa (注)ヘパリンカルシウム	4時間	医療安全ハンドブック
8	ダルテパリンナトリウム	(注)フラグミン	(注)ダルテパリンNa (注)リザルミン	12時間	医療安全ハンドブック
9	(アルガトロバン水和物)	(注)スロンノン (注)ノバスタン	(注)アルガトロバン	(2時間)	医療安全ハンドブック
10	フォンダバリヌクスナトリウム	(注)アリクストラ	—	4日	医療安全ハンドブック
11	エノキサパリンナトリウム	(注)クレキササン	—	12時間	医療安全ハンドブック
抗血小板薬：出血の危険性増大のため。					
12	アスピリン	アスピリン バファリン配合錠 (アスピリン/ダイアルミネート) コンブラピン配合錠 (アスピリン/クロビドグレル硫酸塩) タケルダ配合錠 (アスピリン/ランソプラゾール) キャブピリン配合錠 ☆ (アスピリン/ホノフラザンフマル酸塩)	バイアスピリン アスファネート配合錠 (アスピリン/ダイアルミネート) ニトキス配合錠 (アスピリン/ダイアルミネート) パッサミン配合錠 (アスピリン/ダイアルミネート) ファモター配合錠 (アスピリン/ダイアルミネート)	7-10日	医療安全ハンドブック
13	クロビドグレル硫酸塩	ブラビックス コンブラピン配合錠 (アスピリン/クロビドグレル硫酸塩)	クロビドグレル ロレアス	7-14日	医療安全ハンドブック
14	プラスグレル塩酸塩	エフィエント	—	7-14日	医療安全ハンドブック
15	チクロピジン塩酸塩	パナルジン	チクロピジン塩酸塩 マイトジン	7-14日	医療安全ハンドブック
16	チカグレロル	プリリント	—	5日	【添付文書】重要な基本的注意
17	サルボグレラート塩酸塩	アンブラーグ	サルボグレラート塩酸塩	1-2日	医療安全ハンドブック
18	シロスタゾール	プレタール	コートリズム シロシナミン シロスタゾール シロスレット プレトモール ホルダゾール	2-3日	医療安全ハンドブック
冠血管拡張薬：出血の危険性増大のため。					
19	ジピリダモール	ベルサンチン	ジピリダモール ヨウリダモール	1-2日	医療安全ハンドブック
20	(ジラゼブ塩酸塩水和物)	コメリアンコーフ	ジラゼブ塩酸塩	(1日)	医療安全ハンドブック
21	(トラビジル)	ロコルナール	トラビジル	(1日)	医療安全ハンドブック
虚血性心疾患治療薬：出血の危険性増大のため。					
22	(トリメタジジン塩酸塩)	バスタレルF	—	(2日)	医療安全ハンドブック
脳循環・代謝改善薬：出血の危険性増大のため。					
23	(イフェンプロジル酒石酸塩)	セロクラール	イフェンプロジル酒石酸塩	(2日)	医療安全ハンドブック
24	イブジラスト	ケタス	—	3日	メーカー回答 服用中止72時間後にはほとんど血中に検出されない
25	(ニセルゴリン)	サアミオン	ニセルゴリン マリレオンN	不要	メーカー回答 血小板凝集抑制作用を有するが、出血時間、プロトロンビン時間等の凝固系パラメータには影響しないとの報告あり。念のため休薬するのであれば2~3日前。

	成分名	商品名		休業期間	備考
		先発品	後発品		
脂質異常症用薬：出血の危険性増大のため。					
26	EPA(イコサペント酸エチル)	エパデール	イコサペント酸エチル	7-10日	医療安全ハンドブック
27	EPA・DHA(オメガ-3脂肪酸エチル)	ロトリガ	オメガ-3脂肪酸エチル	7-10日	明確な指標はないため、EPA製剤に準拠。手術医療の実践ガイドライン(日本手術医学会)では手術7日前
プロスタグランジン製剤：出血の危険性増大のため。					
28	ベラプロストナトリウム	ドルナー プロサイリン ケアロードLA ベラサスLA	ベラプロストNa ベラプロストナトリウム	1-2日	医療安全ハンドブック
29	(リマプロスタアルファデクス)	オパルモン	リマプロスタアルファデクス	(1-2日)	医療安全ハンドブック
トロンボキサンA2阻害薬：出血の危険性増大のため。					
30	オザグレリル塩酸塩水和物	ドメナン		1-2日	メーカー回答
31	オザグレリルナトリウム	(注)カタクロット (注)キサンボン	オザグレリルNa オザグレリルナトリウム	24時間	メーカー回答
女性ホルモン製剤：血液凝固能が亢進し、心血管系副作用(静脈血栓塞栓症等)の危険性が高くなるため。					
32	ドロスピレノン・エチニル エストラジオールペー タデクス	ヤーズ配合錠 ヤーズフレックス配合錠	ドロエチ配合錠	術前4週以内 ～術後2週以内 産後4週以内	【添付文書】禁忌
33	レボノルゲストレル・エ チニルエストラジオール	ジェミーナ配合錠 ☆	－	術前4週以内 ～術後2週以内 産後4週以内	【添付文書】禁忌
34	ノルエチステロン・ エチニルエストラジオール	ルナベル配合錠LD ルナベル配合錠ULD	フリウエル配合錠LD	術前4週以内 ～術後2週以内 産後4週以内	【添付文書】禁忌
34		シンフェーズT28 (薬価未収載)	－	術前4週以内 ～術後2週以内 産後4週以内	
35	デソゲストレル・ エチニルエストラジオール	マーベロン21/28 (薬価未収載)	フォボワール錠21/28 (薬価未収載)	術前4週以内 ～術後2週以内 産後4週以内	【添付文書】禁忌
36	レボノルゲストレル・ エチニルエストラジオール	アンジュ21/28(薬価未収載) トリキュラー錠21/28 (薬価未収載)	ラベルフィーユ錠21/28 (薬価未収載)	術前4週以内 ～術後2週以内 産後4週以内	【添付文書】禁忌
37	ノルゲストレル・ エチニルエストラジオール	プラノバル配合錠	－	医師の判断	患者の血栓リスクに応じて休業を考慮する。休業の目安としては低用量ビルに準拠 【添付文書】 服用中にやむを得ず手術が必要と判断される場合には、血栓症の予防に十分配慮すること
38	レボノルゲストレル・ エストラジオール	ウェールナラ配合錠	－	医師の判断	患者の血栓リスクに応じて休業を考慮する。休業の目安としては低用量ビルに準拠 【添付文書】慎重投与
39	酢酸ノルエチステロン・ エストラジオール	メノエイドコンビパッチ	－	医師の判断	患者の血栓リスクに応じて休業を考慮する。休業の目安としては低用量ビルに準拠 【添付文書】慎重投与
40	エストラジオール	ジュリナ	エストラジオール錠	医師の判断	添付文書 【特定の背景を有する患者に関する注意】 術前又は長期臥床状態の患者 血液凝固能が亢進され、心血管系の副作用の危険性が高くなる ことがある。
40		エストラーナテープ ディピゲル ル・エストロジェル	－	医師の判断	
41	エストリオール	エストリール エストリオール ホーリン	－	医師の判断	患者の血栓リスクに応じて休業を考慮する。休業の目安としては低用量ビルに準拠 【添付文書】慎重投与
41		エストリール錠 ホーリンV錠用錠	－	医師の判断	患者の血栓リスクに応じて休業を考慮する。休業の目安としては低用量ビルに準拠
42	エチニルエストラジオール	プロセキソール	－	医師の判断	患者の血栓リスクに応じて休業を考慮する。休業の目安としては低用量ビルに準拠 【添付文書】 服用中にやむを得ず手術が必要と判断される場合には、血栓症の予防に十分配慮すること
43	結合型エストロゲン	ブレマリン	－	4週以内	【添付文書】慎重投与
44	メドロキシプロゲステロン 酢酸エステル	ヒスロンH200mg	メドロキシプロゲステロン酢 酸エステル200mg	術後1週間	【添付文書】禁忌
		ヒスロン プロベラ	メドロキシプロゲステロン酢 酸エステル	医師の判断	高用量(200mg製剤)では術後1週間禁忌

	成分名	商品名		休業期間	備考
		先発品	後発品		
骨粗鬆症治療薬：血液凝固能が亢進し、心血管系副作用（静脈血栓塞栓症等）の危険性が高くなるため。					
45	パゼドキシフェン酢酸塩	ビビアント	パゼドキシフェン	3日	明確な指標はないため、ラロキシフェンと同様に半減期から判断 半減期 23±6時間
46	ラロキシフェン塩酸塩	エビスタ	ラロキシフェン塩酸塩	3日	【インタビューフォーム】 半減期24.3時間であること、米国の添付文書（少なくとも不動状態の期間及び不動状態に入る72時間前に投与中止）に基づく
抗がん剤：血管新生阻害作用により創傷治癒遅延のため。手術後の投与再開は、患者の状態に応じて判断すること。					
47	(抗VEGF抗体) アフリベルセプト ペータ	(注)ザルトラップ	—	6週間	メーカー回答 【添付文書】 手術を予定している場合には手術の前に本剤の投与を中断すること 半減期 4.81～5.54日
48	(抗VEGF抗体) ベバシズマブ	(注)アバステン	ベバシズマブBS	6週間(大手術) 4週間(小手術) 10-14日(ポート造設等)	メーカー回答 【添付文書】警告 本剤の投与終了後に手術を行う場合は、本剤の投与終了からその後の手術まで十分な期間をおくこと 半減期 11.68～13.40日
49	(抗VEGF抗体) ラムシルマブ	(注)サイラムザ	—	28日	メーカー回答 【添付文書】 手術の前に投与を中断すること 半減期 183(138～228)hr
50	(VEGFR阻害薬) アキシチニブ	インライタ	—	24時間	適正使用ガイド参照 【添付文書】 外科的処置が予定されている場合には、外科的処置の前に本剤の投与を中断すること 半減期 4.8～5.9hr
51	(マルチキナーゼ阻害薬) スニチニブリンゴ酸塩	スーテント	—	7～10日	適正使用ガイド参照 【添付文書】 手術時は投与を中断することが望ましい 半減期 49.5hr N-脱エチル体(活性代謝物) 75.3hr
52	(マルチキナーゼ阻害薬) ソラフェニブトシル酸塩	ネクサパール	—	28日	メーカー回答 臨床試験時の条件をもとに28日としているが、最近の臨床報告では7日間の休業にしている報告が多い 【添付文書】 手術時は投与を中断することが望ましい 半減期 25.5hr
53	(マルチキナーゼ阻害薬) パゾパニブ塩酸塩	ヴォトリエント	—	14日	メーカー回答 ※海外(米・英)の添付文書では少なくとも7日 【添付文書】 外科的処置が予定されている場合には、外科的処置の前に本剤の投与を中断すること 半減期 21.4～42.5hr
54	(マルチキナーゼ阻害薬) バンデタニブ	カブレルサ	—	医師の判断	【添付文書】 外科的処置が予定されている場合には、外科的処置の前に本剤の投与を中断すること 半減期 90.2～115hr
55	(マルチキナーゼ阻害薬) レゴラフェニブ	スチバーガ	—	2週間	適正使用ガイド参照 【添付文書】 手術が予定されている場合には、手術の前に本剤の投与を中断すること 半減期 27.4hr 活性代謝物M-2 24.8hr 活性代謝物M-5 60.8hr
56	カボザンチニブリンゴ酸塩錠	カボメティクス ☆	—	28日	適性使用の手引き(肝細胞がん) 創傷 治癒を遅らせる可能性があるため、外科的処置が予定されている場合には、外科的処置の少なくとも28日以上前に本剤の投与を中断することを検討してください。
57	(マルチキナーゼ阻害薬) レンバチニブメシル酸塩	レンビマ	—	7日(半減期の5倍相当) 2日(軽度の処置の場合)	適正使用ガイド参照 【添付文書】 外科的処置が予定されている場合には、外科的処置の前に本剤の投与を中断すること 半減期 19.1～46.5hr

	成分名	商品名		休業期間	備考
		先発品	後発品		
58	(mTOR阻害薬) エベロリムス	アフィニートール サーティカン(免疫抑制剤)	—	医師の判断	メーカー回答 半減期の3-5倍程度 半減期 35.6~40.5hr
59	(mTOR阻害薬) シロリムス	ラパリムス	—	14日以上(肺移植) 医師の判断(その他)	適正使用ガイド参照 海外で肺移植患者において気管支吻合部離開例(致命的)が 報告されている 半減期 47.7hr
60	(mTOR阻害薬) テムシロリムス	(注)トーリセル	—	医師の判断	【添付文書】 手術時は投与を中断することが望ましい 半減期 13.5~14.8hr シロリムス(活性代謝体) 59.2~67.0hr
61	サリドマイド	サレド	—	1日	メーカー回答 100mg単回投与時の血漿中サリドマイド濃度は24時間後には ほぼゼロになることから 【添付文書】 外科手術等を実施した場合、適切な期間本剤の投与を中止す ること 半減期 約4~5hr
62	ボマリドミド	ボマリスト	—	医師の判断	血管新生阻害作用はサリドマイドより弱い(in vitro) 半減期 約6~7hr
63	レナリドミド水和物	レブラミド	レナリドミド	医師の判断	血管新生阻害作用はサリドマイドより弱い(in vitro) 半減期 約2~3hr
抗線維化剤(チロシンキナーゼ阻害薬): 血管新生阻害作用により創傷治癒遅延のため。 手術後の投与再開は、患者の状態に応じて判断すること。					
64	ニンテダニブエタンスルホン酸塩	オフエブ	—	7日	メーカー回答 【添付文書】 手術時は投与を中断することが望ましい 半減期 8.48hr BIBF1202(活性代謝物) 6.11hr

	成分名	商品名		休業期間	備考
		先発品	後発品		
TNF阻害薬：創傷治癒、感染防御に影響がある可能性があるため。 手術後の投与再開は、患者の状態に応じて判断すること。					
65	アダリムマブ	(注)ヒュミラ	(注)アダリムマブBS	2週間	<p>関節リウマチ(RA)に対するアダリムマブ使用ガイドライン(日本リウマチ学会 2008年) 乾癬における生物学的製剤の使用指針および安全対策マニュアル(日本皮膚科学会生物学的製剤検討委員会 2011年版)</p> <p>《その他》 関節リウマチ(RA)に対するTNF阻害薬使用ガイドライン(日本リウマチ学会 2017年3月21日改訂版) 薬剤の投与間隔、投与量、半減期などを考慮して決定することが望ましい 海外のガイドライン 米国：少なくとも1週間 英国：半減期の3-5倍 フランス：3-4週(無菌下のマイナー手術) 4-6週(汚染された環境)</p> <p>半減期 265.6~339.3hr</p>
66	インフリキシマブ	(注)レミケード	(注)インフリキシマブBS	4週間	<p>メーカー回答 乾癬における生物学的製剤の使用指針および安全対策マニュアル(日本皮膚科学会生物学的製剤検討委員会 2011年版)</p> <p>《その他》 関節リウマチ(RA)に対するTNF阻害薬使用ガイドライン(日本リウマチ学会 2017年3月21日改訂版) 薬剤の投与間隔、投与量、半減期などを考慮して決定することが望ましい 海外のガイドライン 米国：少なくとも1週間 英国：半減期の3-5倍 フランス：4週(無菌下のマイナー手術) 8週(汚染された環境)</p> <p>半減期 約8~9.5日</p>
67	エタネルセプト	(注)エンブレル	(注)エタネルセプトBS	1-2週間 2-3週間(汚染された環境)	<p>メーカー回答</p> <p>《その他》 関節リウマチ(RA)に対するTNF阻害薬使用ガイドライン(日本リウマチ学会 2017年3月21日改訂版) 薬剤の投与間隔、投与量、半減期などを考慮して決定することが望ましい 海外のガイドライン 米国：少なくとも1週間 英国：半減期の3-5倍 フランス：1-2週(無菌下のマイナー手術) 2-3週(汚染された環境)</p> <p>半減期 77.9~87.6hr</p>
68	ゴリムマブ	(注)シンボニー	—	2-4週間(可能なら4週間)	<p>メーカー回答</p> <p>半減期 11.92~12.56日</p>
69	セルトリズマブペゴル	(注)シムジア	—	医師の判断	<p>半減期 10.7~13.2日</p>
ヒト型抗ヒトIL-12/23p40モノクローナル抗体：創傷治癒、感染防御に影響がある可能性があるため。 手術後の投与再開は、患者の状態に応じて判断すること。					
70	ウステキヌマブ	(注)ステララ	—	6週間	<p>適正使用ガイド 乾癬における生物学的製剤の使用指針および安全対策マニュアル(日本皮膚科学会生物学的製剤検討委員会 2011年版)</p> <p>半減期 約3週</p>
T細胞選択的共刺激調節剤：創傷治癒、感染防御に影響がある可能性があるため。 手術後の投与再開は、患者の状態に応じて判断すること。					
71	アバタセプト	(注)オレンシア	—	医師の判断	<p>関節リウマチ(RA)に対するアバタセプト使用ガイドライン(日本リウマチ学会 2017年3月21日改訂版) 半減期を考慮して、最終投与より一定間隔を空けて行うことが望ましい 適正使用ガイド 人工膝関節置換術(TKA)を施行した2例において、術前4週、術後2~4週の休業で特に問題なかったとの報告あり</p> <p>半減期 約10日</p>

	成分名	商品名		休業期間	備考
		先発品	後発品		
JAK阻害薬：感染防御に影響がある可能性があるため。手術後の投与再開は、患者の状態に応じて判断すること。					
72	トファシチニブクエン酸塩	ゼルヤンツ	—	術前1週間～術後1週間	メーカー回答 治験時の対応 《その他》 前例市販後調査のためのトファシチニブ使用ガイドライン(日本リウマチ学会 2014年6月29日改訂版) 周術期には休業を含む慎重な対応を行い、局所症状に注意して手術部位感染の早期発見に努める 半減期 2.06～3.60hr
73	バリシチニブ	オルミエント	—	医師の判断	全例市販後調査のためのバリシチニブ(オルミエント)使用ガイドライン(日本リウマチ学会 2017年8月20日) 周術期には休業を含む慎重な対応を行い、局所症状に注意して手術部位感染の早期発見に努める。 半減期 6.39～6.52hr
74	ルキソリチニブ	ジャカビ	—	医師の判断	半減期 2.51～3.40hr
免疫抑制薬：感染防御に影響がある可能性があるため。手術後の投与再開は、患者の状態に応じて判断すること。					
75	メトトレキサート	メトトレキサート リウマトレックス	メトトレキサート	不要(整形外科予定手術) 医師の判断※(12mg/週超の高用量投与、整形外科以外の手術)	関節リウマチ治療におけるメトトレキサート(MTX)診療ガイドライン(日本リウマチ学会 2016年改訂版) ※休業期間に関するエビデンスはないが、休業する場合は1-2週としている施設はある 半減期 2.4hr
ビグアナイド薬：乳酸アシドーシスを起こしやすい。					
76	ブホルミン塩酸塩	—	ジベトス ブホルミン塩酸塩	術前2日～術後2日	【添付文書】禁忌
77	メトホルミン塩酸塩	グリコラン メトグルコ イニシンク (アログリブチン/メトホルミン) エクメット (ビルダグリブチン/メトホルミン) メタクト (ビオグリブチン/メトホルミン) メトアナ配合錠 (アナグリブチン/メトホルミン)	メトホルミン塩酸塩	術前2日～術後2日	【添付文書】禁忌
SGLT2阻害薬：ケトアシドーシスを起こしやすい。(日本糖尿病学会 SGLT2阻害薬の適正使用に関するRecommendation) 緊急手術の場合には、休業は必須ではないが、再開については予定手術の場合と同様とし、再開後のケトアシドーシスの症状に留意する。					
78	イブラグリフロジン	スーグラ錠	—	3日	【添付文書】禁忌
79	ダバグリフロジン	フォシーガ錠	—	3日	【添付文書】禁忌
80	ルセオグリフロジン	ルセフィ錠	—	3日	【添付文書】禁忌
81	トホグリフロジン	デベルザ錠	—	3日	【添付文書】禁忌
82	カナグリフロジン	カナグル錠 カナリア配合錠 (テネリグリブチン臭化水素酸塩/ カナグリフロジン水和物)	—	3日	【添付文書】禁忌
83	エンバグリフロジン	ジャディアンス錠	—	3日	【添付文書】禁忌
84	イブラグリフロジン	スージャヌ配合錠 (シタグリブチンリン酸塩水和物/ イブラグリフロジン-L-プロリン)	—	3日	【添付文書】禁忌
85	エンバグリフロジン	トラディアンス配合錠 (エンバグリフロジン/リナグリブチン)	—	3日	【添付文書】禁忌

その他、手術当日に休業が必要な薬剤については麻酔科指示に従ってください

周術期に休薬の検討が必要な薬剤一覧（索引）

下記に記載している休薬期間は「目安」です。
 周術期の休薬については、主治医が患者の状態に応じて休薬によるリスクとベネフィットを考慮した上でご判断ください。

詳細は、周術期に休薬が必要な薬剤一覧を参照ください。

(注):注射剤 (G):ジェネリック

索引番号	分類	商品名	成分名	休薬期間
12	抗血小板	アスピリン	アスピリン	7-10日
12	抗血小板	アスファネート配合錠(G)	アスピリン	7-10日
65	TNF阻害薬	アダリムマブBS(注)(G)	アダリムマブ	2週間
48	抗がん剤	アバスチン(注)	(抗VEGF抗体)ペバシズマブ	6週間(大手術) 4週間(小手術) 10-14日(ポート造設等)
58	抗がん剤	アフィニール	(mTOR阻害薬)エベロリムス	医師の判断
10	抗凝固薬	アリクストラ(注)	フォンダパリヌクスナトリウム	4日
9	抗凝固薬	アルガトロバン(注)(G)	アルガトロバン水和物	2時間
36	女性ホルモン製剤	アンジュ21/28 (薬価未収載)	レボノルゲステル・エチニルエストラジオール	術前4週以内 ~ 術後2週以内 産後4週以内
17	抗血小板	アンブラーグ	サルボグレラート塩酸塩	1-2日
4	抗凝固薬	イグザレルト	リバーロキサバン	1-2日
26	脂質異常症用薬	イコサベント酸エチル(G)	EPA(イコサベント酸エチル)	7-10日
77	ビグアナイド薬	イニシンク配合錠 (アログリブチン/外ホルミン)	メトホルミン塩酸塩	術前2日 ~ 術後2日
23	脳循環・代謝改善薬	イフェンプロジル酒石酸塩(G)	イフェンプロジル酒石酸塩	(2日)
66	TNF阻害薬	インフリキシマブBS(注)(G)	インフリキシマブ	4週間
50	抗がん剤	インライタ	(VEGFR阻害薬)アキシチニブ	24時間
38	女性ホルモン製剤	ウェールナラ配合錠	レボノルゲステル・エストラジオール	医師の判断
53	抗がん剤	ヴォトリエント	(マルチキナーゼ阻害薬)バゾパニブ塩酸塩	14日
77	ビグアナイド薬	エクメット配合錠(ビルダグリブチン/外ホルミン)	メトホルミン塩酸塩	術前2日 ~ 術後2日
40	女性ホルモン製剤	エストラーナテープ	エストラジオール	医師の判断
40	女性ホルモン製剤	エストラジオール錠(G)	エストラジオール	医師の判断
41	女性ホルモン製剤	エストリール	エストリオール	医師の判断
41	女性ホルモン製剤	エストリール錠	エストリオール	医師の判断
41	女性ホルモン製剤	エストリオール	エストリオール	医師の判断
67	TNF阻害薬	エタネルセプトBS(注)(G)	エタネルセプト	1-2週間 2-3週間(汚染された環境)
26	脂質異常症用薬	エパデール	EPA(イコサベント酸エチル)	7-10日
46	骨粗鬆症治療薬	エビスタ	ラロキシフェン塩酸塩	3日
14	抗血小板	エフィエント	プラスグレル塩酸塩	7-14日
1	抗凝固薬	エリキュース	アピキサバン	1-3日
67	TNF阻害薬	エンブレル(注)	エタネルセプト	1-2週間 2-3週間(汚染された環境)
31	トロンボキサンA2阻害薬	オザグレルNa(G)	オザグレルナトリウム	24時間
31	トロンボキサンA2阻害薬	オザグレルナトリウム(G)	オザグレルナトリウム	24時間
29	プロスタグランジン製剤	オパールモン	リマプロストアルファデクス	(1-2日)
64	抗線維化剤(チロシキナーゼ阻害薬)	オフエブ	ニンテダニブエタンシルホン酸塩	7日
27	脂質異常症用薬	オメガ-3脂肪酸エチル(G)	EPA・DHA(オメガ-3脂肪酸エチル)	7-10日
73	JAK阻害薬	オルミエント	バリシチニブ	医師の判断
71	T細胞選択的共刺激調節剤	オレンシア(注)	アバタセプト	医師の判断
31	トロンボキサンA2阻害薬	カタクロット(注)	オザグレルナトリウム	24時間
82	SGLT2阻害薬	カナグル錠	カナグリフロジン	3日
82	SGLT2阻害薬	カナリア配合錠(テネリグリブチン臭化水素酸塩/カナグリフロジン水和物)	カナグリフロジン	3日
54	抗がん剤	カブレルサ	(マルチキナーゼ阻害薬)バンデタニブ	医師の判断
56	抗がん剤	カボメティクス	カボザンチニブリンゴ酸塩錠	28日

周術期に休薬の検討が必要な薬剤一覧（索引）

下記に記載している休薬期間は「目安」です。
 周術期の休薬については、主治医が患者の状態に応じて休薬によるリスクとベネフィットを考慮した上でご判断ください。

詳細は、周術期に休薬が必要な薬剤一覧を参照ください。

(注):注射剤 (G):ジェネリック

索引番号	分類	商品名	成分名	休薬期間
12	抗血小板	キャピリン配合錠	アスピリン/ボノブラザンフマル酸塩	7-10日
77	ビグアナイド薬	グリコラン	メトホルミン塩酸塩	術前2日～術後2日
11	抗凝固薬	クレキサン(注)	エノキサパリンナトリウム	12時間
13	抗血小板	クロピドグレル(G)	クロピドグレル硫酸塩	7-14日
28	プロスタグランジン製剤	ケアロードLA	ベラプロストナトリウム	1-2日
24	脳循環・代謝改善薬	ケタス	イブジラスト	3日
20	冠血管拡張薬	コメリアンコーワ	ジラゼブ塩酸塩水和物	(1日)
12	抗血小板	コンブラビン配合錠	アスピリン/クロピドグレル	7-10日
13	抗血小板	コンブラビン配合錠	クロピドグレル硫酸塩/アスピリン	7-14日
58	抗がん剤	サーティカン(免疫抑制剤)	(mTOR阻害薬)エペロリムス	医師の判断
25	脳循環・代謝改善薬	サアミオン	ニセルゴリン	不要
49	抗がん剤	サイラムザ(注)	(抗VEGF抗体)ラムシルマブ	28日
47	抗がん剤	ザルトラップ(注)	(抗VEGF抗体)アフリベルセプト ベータ	6週間
17	抗血小板	サルボグレラート塩酸塩(G)	サルボグレラート塩酸塩	1-2日
61	抗がん剤	サレド	サリドマイド	1日
33	女性ホルモン製剤	ジェミーナ配合錠	レボノルゲステレル・エチニルエストラジオール	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
19	冠血管拡張薬	ジピリダモール(G)	ジピリダモール	1-2日
76	ビグアナイド薬	ジベトス(G)	ブホルミン塩酸塩	術前2日～術後2日
69	TNF阻害薬	シムジア(注)	セルトリズマブベゴル	医師の判断
74	JAK阻害薬	ジャカビ	ルキシリチニブ	医師の判断
83	SGLT2阻害薬	ジャディアンス錠	エンパグリフロジン	3日
40	女性ホルモン製剤	ジュリナ錠	エストラジオール	医師の判断
20	冠血管拡張薬	ジラゼブ塩酸塩(G)	ジラゼブ塩酸塩水和物	(1日)
18	抗血小板	シロスタゾール(G)	シロスタゾール	2-3日
34	女性ホルモン製剤	シンフェーズT28(薬価未収載)	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
68	TNF阻害薬	シンボニー(注)	ゴリムマブ	2-4週間(可能なら4週間)
78	SGLT2阻害薬	スーグラ錠	イブラグリフロジン	3日
84	SGLT2阻害薬	スージャス配合錠(シタグリプチンリン酸塩水和物 /イブラグリフロジン-トプロリン)	イブラグリフロジン	3日
51	抗がん剤	スーテント	(マルチキナーゼ阻害薬)スニチニブリンゴ酸塩	7-10日
55	抗がん剤	スチパーガ	(マルチキナーゼ阻害薬)レゴラフェニブ	2週間
70	ヒト型抗ヒトIL-12/23p40モノクローナル抗体	ステラーラ(注)	ウステキヌマブ	6週間
9	抗凝固薬	スロンノン(注)	アルガトロバン水和物	2時間
72	JAK阻害薬	ゼルヤンツ	トファシチニブクエン酸塩	術前1週間～術後1週間
23	脳循環・代謝改善薬	セロクラール	イフェンプロジル酒石酸塩	(2日)
12	抗血小板	タケルダ配合錠	アスピリン/ランソプラゾール	7-10日
8	抗凝固薬	ダルテパリンNa(注)(G)	ダルテパリンナトリウム	12時間
15	抗血小板	チクロピジン塩酸塩(G)	チクロピジン塩酸塩	7-14日
40	女性ホルモン製剤	ディビゲル	エストラジオール	医師の判断
81	SGLT2阻害薬	デベルザ錠	トホグリフロジン	3日
60	抗がん剤	トーリセル(注)	(mTOR阻害薬)テムシロリムス	医師の判断
30	トロンボキサンA2阻害薬	ドメナン	オザグレル塩酸塩水和物	1-2日
85	SGLT2阻害薬	トラディアンス配合錠(エンパグリフロジン /リナグリプチン)	エンパグリフロジン	3日

周術期に休薬の検討が必要な薬剤一覧（索引）

下記に記載している休薬期間は「目安」です。
 周術期の休薬については、主治医が患者の状態に応じて休薬によるリスクとベネフィットを考慮した上でご判断ください。

詳細は、周術期に休薬が必要な薬剤一覧を参照ください。

(注):注射剤 (G):ジェネリック

索引番号	分類	商品名	成分名	休薬期間
21	冠血管拡張薬	トラビジル(G)	トラビジル	(1日)
36	女性ホルモン製剤	トリキュラー錠21/28(薬価未記載)	レボノルゲステレル・エチニルエストラジオール	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
28	プロスタグランジン製剤	ドルナー	ベラプロストナトリウム	7-10日
32	女性ホルモン製剤	ドロエチ配合錠(G)	ドロスピノン・エチニルエストラジオールベータデクス	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
25	脳循環・代謝改善薬	ニセルゴリン(G)	ニセルゴリン	不要
12	抗血小板	ニトギス配合錠(G)	アスピリン	7-10日
52	抗がん剤	ネクサパール	(マルチキナーゼ阻害薬)ソラフェニブトシル酸塩	28日
9	抗凝固薬	ノバスタン(注)	アルガトロバン水和物	2時間
12	抗血小板	バイアスピリン(G)	アスピリン	7-10日
22	虚血性心疾患治療薬	バスタレルF	トリメタジジン塩酸塩	(2日)
45	骨粗鬆症治療薬	バゼドキシフェン(G)	バゼドキシフェン酢酸塩	3日
12	抗血小板	バスサミン配合錠(G)	アスピリン	7-10日
15	抗血小板	パナルジン	チクロピジン塩酸塩	7-14日
12	抗血小板	バファリン配合錠(G)	アスピリン	7-10日
44	女性ホルモン製剤	ヒスロン	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	医師の判断
44	女性ホルモン製剤	ヒスロンH200mg	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	術後1週間
45	骨粗鬆症治療薬	ビピアント	バゼドキシフェン酢酸塩	3日
65	TNF阻害薬	ヒュミラ(注)	アダリムマブ	2週間
12	抗血小板	ファモター配合錠(G)	アスピリン	7-10日
79	SGLT2阻害薬	フォシーガ錠	ダパグリフロジン	3日
35	女性ホルモン製剤	フォボワール錠21/28(薬価未記載)(G)	デソゲステレル・エチニルエストラジオール	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
76	ビグアナイド薬	ブホルミン塩酸塩(G)	ブホルミン塩酸塩	術前2日～術後2日
8	抗凝固薬	フラグミン(注)	ダルテパリンナトリウム	12時間
3	抗凝固薬	ブラザキサ	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩	1-4日
37	女性ホルモン製剤	ブラノバル配合錠	ノルゲステレル・エチニルエストラジオール	医師の判断
13	抗血小板	プラビックス	クロピドグレル硫酸塩	7-14日
34	女性ホルモン製剤	フリウエル配合錠LD(G)	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
16	抗血小板	ブリリント	チカグレロル	5日
18	抗血小板	プレタール	シロスタゾール	2-3日
43	女性ホルモン製剤	プレマリン	結合型エストロゲン	4週以内
28	プロスタグランジン製剤	プロサイリン	ベラプロストナトリウム	7-10日
42	女性ホルモン製剤	プロセキソール	エチニルエストラジオール	医師の判断
44	女性ホルモン製剤	プロペラ	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	医師の判断
48	抗がん剤	ベバシズマブBS(注)(G)	(抗VEGF抗体)ベバシズマブ	6週間(大手術) 4週間(小手術) 10-14日(ポート造設等)
7	抗凝固薬	ヘパリンCa(注)(G)	ヘパリンカルシウム	4時間
6	抗凝固薬	ヘパリンNa(注)	ヘパリンナトリウム	4時間
7	抗凝固薬	ヘパリンカルシウム(注)(G)	ヘパリンカルシウム	4時間
6	抗凝固薬	ヘパリンナトリウム(注)	ヘパリンナトリウム	4時間
28	プロスタグランジン製剤	ベラサスLA	ベラプロストナトリウム	7-10日
28	プロスタグランジン製剤	ベラプロストNa(G)	ベラプロストナトリウム	1-2日
28	プロスタグランジン製剤	ベラプロストナトリウム(G)	ベラプロストナトリウム	1-2日

周術期に休薬の検討が必要な薬剤一覧（索引）

下記に記載している休薬期間は「目安」です。
 周術期の休薬については、主治医が患者の状態に応じて休薬によるリスクとベネフィットを考慮した上でご判断ください。

詳細は、周術期に休薬が必要な薬剤一覧を参照ください。

(注):注射剤 (G):ジェネリック

索引番号	分類	商品名	成分名	休薬期間
19	冠血管拡張薬	ペルサンチン	ジピリダモール	1-2日
41	女性ホルモン製剤	ホーリン	エストリオール	医師の判断
41	女性ホルモン製剤	ホーリンV腔用錠	エストリオール	医師の判断
62	抗がん剤	ポマリスト	ポマリドミド	医師の判断
35	女性ホルモン製剤	マーベロン21/28(薬価未収載)	デソゲストレル・エチニルエストラジオール	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
75	免疫抑制薬	メトトレキサート	メトトレキサート	不要(整形外科予定手術) 医師の判断※(12mg/週超の高用量投与、整形外科以外の手術)
77	ビグアナイド薬	メタクト配合錠(ピオグリタゾン/メホルミン)	メホルミン塩酸塩	術前2日～術後2日
77	ビグアナイド薬	メトアナ配合錠(アナグリプチン/メホルミン)	メホルミン塩酸塩	術前2日～術後2日
77	ビグアナイド薬	メグルコ	メホルミン塩酸塩	術前2日～術後2日
75	免疫抑制薬	メトトレキサート(G)	メトトレキサート	不要(整形外科予定手術) 医師の判断※(12mg/週超の高用量投与、整形外科以外の手術)
77	ビグアナイド薬	メホルミン塩酸塩(G)	メホルミン塩酸塩	術前2日～術後2日
44	女性ホルモン製剤	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル錠(G)	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	200mg:術後1週間5mg・2.5mg:医師の判断
44	女性ホルモン製剤	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル錠(G)	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	200mg:術後1週間5mg・2.5mg:医師の判断
39	女性ホルモン製剤	メノエイドコンビパッチ	酢酸ノルエチステロン・エストラジオール	医師の判断
32	女性ホルモン製剤	ヤーズフレックス配合錠	ドロスピレノン・エチニルエストラジオールベータデクス	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
32	女性ホルモン製剤	ヤーズ配合錠	ドロスピレノン・エチニルエストラジオールベータデクス	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
59	抗がん剤	ラパリムス	(mTOR阻害薬)シロリムス	14日以上(肺移植) 医師の判断(その他)
36	女性ホルモン製剤	ラベルフィーユ錠21/28(薬価未収載)(G)	レボノルゲステレル・エチニルエストラジオール	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
46	骨粗鬆症治療薬	ラロキシフェン塩酸塩(G)	ラロキシフェン塩酸塩	3日
75	免疫抑制薬	リウマトレックス	メトトレキサート	不要(整形外科予定手術) 医師の判断※(12mg/週超の高用量投与、整形外科以外の手術)
2	抗凝固薬	リクシアナ	エドキサバントシル酸塩水和物	1-2日
8	抗凝固薬	リザルミン(注)(G)	ダルテパリンナトリウム	12時間
29	プロスタグランジン製剤	リマプロスタアルファデクス(G)	リマプロスタアルファデクス	(1-2日)
40	女性ホルモン製剤	ル・エストロジェル	エストラジオール	医師の判断
80	SGLT2阻害薬	ルセフィ錠	ルセオグリフロジン	3日
34	女性ホルモン製剤	ルナベル配合錠LD	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
34	女性ホルモン製剤	ルナベル配合錠ULD	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	術前4週以内～術後2週以内 産後4週以内
63	抗がん剤	レナリドミド(G)	レナリドミド水和物	医師の判断
63	抗がん剤	レブラミド	レナリドミド水和物	医師の判断
66	TNF阻害薬	レミケード(注)	インフリキシマブ	4週間
57	抗がん剤	レンビマ	(マルチキナーゼ阻害薬)レンパチニブメシル酸塩	7日(半減期の5倍相当) 2日(軽度の処置の場合)
21	冠血管拡張薬	ロコルナール	トラビジル	(1日)
27	脂質異常症用薬	ロトリガ	EPA・DHA(オメガ-3脂肪酸エチル)	7-10日
13	抗血小板	ロレアス配合錠(G)	クロピドグレル硫酸塩/アスピリン	7-14日
5	抗凝固薬	ワーファリン	ワルファリンカリウム	3-5日
5	抗凝固薬	ワルファリンK(G)	ワルファリンカリウム	3-5日